

第4回 IT を活用した教育センターワークショップを終えて

昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座
歯学教育学部門 片岡 竜太

平成 24 年度に「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成プログラム」が文部科学省の大学間連携共同事業として採択されてから 1 年半が経過しました。連携校である北海道医療大学ならびに岩手医科大学、各歯科医師会が連携して、超高齢社会で活躍できる歯科医師を養成するために 1) 口腔乾燥症 2) 基礎疾患を有する患者の歯科診療 3) 病院における急性期チーム医療 4) 地域における回復期チーム医療の 4 つの WG に分かれて教材を作成し、H25 年度 3 つの大学の正規の授業の中で実施しました。

3 連携大学の教職員が対面でディスカッションをする時間を大切にするために、今回のワークショップから前日泊していただき、9 時から**セッション 1 : 大学教職員セッション「IT を活用した授業の準備と運用について」**を行いました。このセッションでは 3 連携大学で H25 年度「IT を活用した授業をどのように準備・実施したか。」「学生や教員の評価はどうだったか」を担当された教職員に話していただきました。今まで教材作成のみに携わり、授業を実施したことがなかった教員などから他大学の状況も含め全体像がよくわかったという声が聞かれました。**セッション 2 : 「地域連携歯科医療教育について」**から歯科医師会の先生方が参加しました。3 連携大学が歯科医師会と連携して行っている学外における学生教育の現状を歯科医師会および大学で共有しました。このセッションにより歯科医師会の先生方がどのように学生教育に関わるのか具体的なイメージが形成されたと感じました。**セッション 3 : 「3 連携大学 3 年生に対する IT 教材を活用した教育の更なる改善を考える」**では H25 年度に本取組で作成した e-ラーニング教材を 3 年生の授業で活用しましたが、そのアンケート結果や正答率などの情報と実際の e-ラーニングの画面を見ながら、参加者で活発な討論がされました。H26 年度の授業実施に向けて具体的な修正点が明らかになりました。**セッション 4 : 「3 連携大学 4 年生に実施する IT 教材を活用した教育を考える」**では、事前に VP (仮想患者) のプロトタイプを各グループで用意していただいたため、実際に PC 画面を見て、その内容の討議が活発にされ、9 月に実施する授業準備が進みました。

今回のワークショップでは前回にも増してステークホルダーである歯科医師会の先生方に活発なご意見をいただきました。また授業運営をしていただいた IT 企業 (金沢電子出版とピコラボ社) と各大学の事務系職員の方々と連絡会を行い、IT 授業運用マニュアルを作成しています。教材作成と授業運用は良い授業を実施する際の 2 本柱となると思います。

最後になりましたが、参加していただいた各大学の皆様、歯科医師会の先生方、IT 企業の方々、WS の運営にご尽力いただいた本学事務関係者、フォトセンター、総合情報管理センター、IT を活用した教育センターの皆様に御礼申し上げます。次回は 6 月 26 日にまたお目にかかることを楽しみにしております。